



SOA普及への条件

2008年6月4日

XMLコンソーシアム SOA部会

本資料およびプレゼンテーションの内容はSOA部会“SOA普及への条件” WGでの議論・見解であり、所属する企業、組織の意見を代表するものではありません。

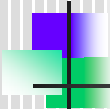


皆さんの周囲で、SOAの採用が広がっているという実感はありますか？



本ご紹介する内容

- 広がるSOAの定義
- SOA採用の日・欧米の差異
- 阻害要因と課題
- 導入方法と成功要因
- 実際のところどうなのか?



“SOA普及への条件” WG

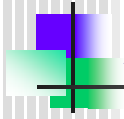
【目的】

- (特に日本において)SOAが普及するための条件と、そのためにできる取り組みについて、調査会社の分析やSOAに関する論文(*)を読み込み、現場の実感を踏まえて議論・考察する。

(*)Gartner, Forrester Research, IDG Japan, The Open Group, Everware-CBD1, WebLayers, IBM

【メンバ】

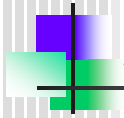
- リーダ: 日本アイ・ビー・エム株式会社 林口英治
- サブリーダー: NECソフト株式会社 横田治樹



本ご紹介する内容

XML Consortium

- 広がるSOAの定義
- SOA採用の日・欧米の差異
- 障害要因と課題
- 導入方法と成功要因
- 実際のところどうなのか?



SOAの原義

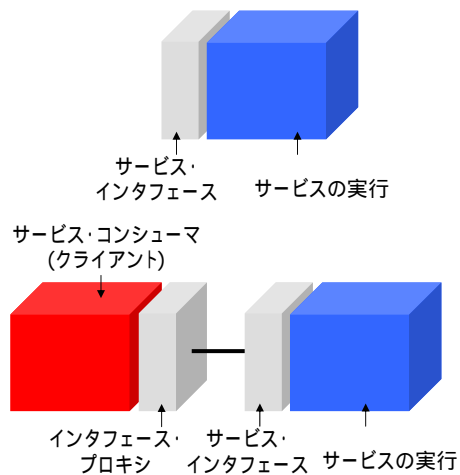
XML Consortium

サービス

ビジネス完結型の論理作業単位であるソフトウェア・コンポーネント。公開され確定したインタフェースを直接的に介して、独立して設計されたコンテキストから、プログラム・アクセスが可能である。

SOA

1対1の疎結合関係を持つ、サービスとサービス・コンシューマ(クライアント)から成るアプリケーション・ソフトウェア・トポロジである。



広過ぎる(現在の)SOAの関心領域

経営戦略

調査会社やITベンダが経営者のSOAへの関心を高めるために、「SOAはビジネスマスター(ビジネスの問題)である」と主張したことからSOAの話がややこしくなる。ビジネスにおけるITの重要性が高まる中で、経営戦略とIT戦略の関連性を深めるきっかけとしてSOAが使われている。

IT戦略・ITガバナンス

2004年ごろに日本でも一時的に流行し、すぐに廃れたEA(エンタープライズ・アーキテクチャ)が、SOAの名前を借りて復活。SOAの超上流で、ITポートフォリオ策定や全社ITの可視化を進めていくと、結局のところEAと同じことをやることになる。情報システム部門の復権の必要性にも繋がる。

BPM

BPRブームがPDCAサイクルによる改善の要素を取り入れて復活。業務プロセスの可視化は、内部統制とタイミングも一致し、可視化だけでなく、効率化にも使っていくという発想。
ワークフロー系ベンダが、自社製品をBPM/SOA製品であるとして参入。BPMN/XPDLが標準に。

インテグレーション・アーキテクチャ

システム間の連携を柔軟に行うための考え方としてのSOA。
技術的にはESBやWS-BPEL、SOAP、JMS、MQ、JBIなど、WS-SecurityやSAMLといったセキュリティについても考慮が必要。

ソフトウェア・アーキテクチャ

ソフトウェアコンポーネント間の疎結合性と、組み合わせを容易にするための考え方としてのSOA。CORBAやEJB、(D)COMが事実上失敗に終わった中で、より標準化が進んだWebサービスに期待が集まる。技術的にはWSDL、SCA、SDOなど。

業務パッケージ・ビジネス

ERPなどの業務パッケージの柔軟性(カスタマイズ性、メンテナンス性)を高める手法としてSOAに関心が集まる。SAPのEnterprise SOAやOracleのAIAなど、主要ERPベンダがSOA対応を主張。
MDM(マスターデータ管理)がパッケージ間の連携を実現する上で、今後重要な要素に。

ミドルウェア・ビジネス

EAI系ベンダや、MOM系ベンダ、APサーバ系ベンダが、OSSの普及などによるコモディティ化によって、利益を上げ続けることが難しくなる中で、より付加価値を高めるため、自社製品をESB/SOA製品であると主張。

システム構築プロセス

SOAによるシステム構築を進めていくための、開発プロセス。上流のビジネスプロセス分析/設計や、サービス粒度の策定が常に問題になる。

本ご紹介する内容

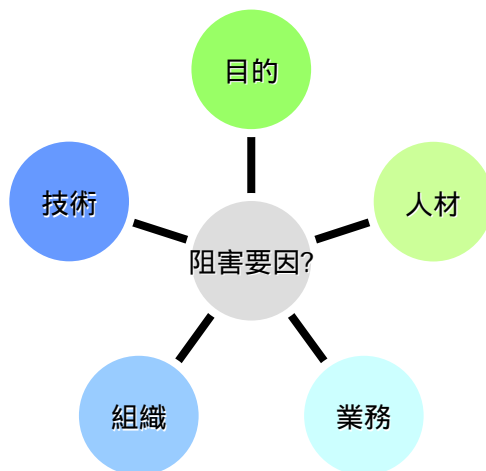
- 広がるSOAの定義
- SOA採用の日・欧米の差異
- 障害要因と課題
- 導入方法と成功要因
- 実際のところどうなのか?

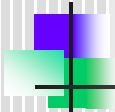
申し訳ありませんが、調査会社との契約・権利関係により、調査会社のレポートは広く配布できませんので印刷資料からは割愛しております。プレゼンをご覧ください。

本ご紹介する内容

- 広がるSOAの定義
- SOA採用の日・欧米の差異
- 阻害要因と課題
- 導入方法と成功要因
- 実際のところどうなのか?

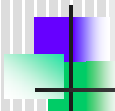
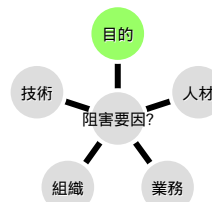
SOA普及 “5つの阻害要因”





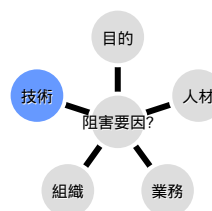
SOA導入の障害要因・課題 (1)目的

- そもそも何故SOAか?
 - 投資対効果 これまでの開発手法/アーキテクチャ/アプローチとの違い
 - トップマネジメントの理解
 - 業務部門・ユーザ部門への説明性



SOA導入の障害要因・課題 (2)技術

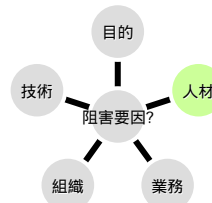
- 技術が未成熟?
 - 開発方法論 サービス抽出・設計, リファレンスアーキテクチャ
 - SOA基盤製品 ESB, BPMS, BRMS, レジストリ・リポジトリ, ポータル
 - 開発ツール モデリング, 設計, プログラミングツール
 - 標準・相互運用性 BPMN, BPEL, WS-*
 - 導入実績 品質, 性能, 信頼性





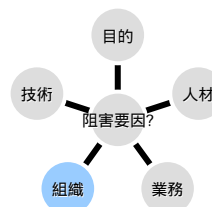
SOA導入の阻害要因・課題 (3)人材

- 人材がない?
 - 業務・ITのあるべき姿を描ける人材
 - プロセスモデリング・サービス設計ができる人材



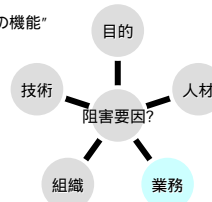
SOA導入の阻害要因・課題 (4)組織

- 組織の問題?
 - 業務部門とIT部門のコミュニケーション
 - 事業部のタテ割り構造 事業部横断プロセス, サービス再利用の経済モデル



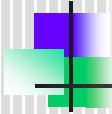
SOA導入の阻害要因・課題 (5)業務

- 日本だけの問題?
 - 複雑・標準化されていない業務プロセス
 - 現場主導のボトムアップ型マネジメント
 - 過剰なサービス/システム品質
 - カスタマイズニーズ “業務は変えない”, “これまでと同等の機能”



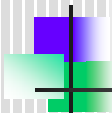
本ご紹介する内容

- 広がるSOAの定義
- SOA採用の日・欧米の差異
- 阻害要因と課題
- 導入方法と成功要因
- 実際のところどうなのか?



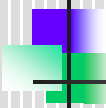
SOA導入 “7つのベストプラクティス”

- “ミドルアウト” アプローチ 全体ビジョン策定と段階的導入アプローチの組み合わせ
- “Quick Win” 小さいが有効な領域から着手し業務部門・マネジメントに素早く価値を提供
- SOA基盤よりビジネスサービス ESB/BPMS導入が目的ではない
- ビジネスプロセスとデータ BPM+MDM(マスタデータ管理), セマンティクス統合
- 再利用よりも俊敏性を重視 コスト削減よりも変化を競争優位に繋げる
- ガバナンス ITガバナンス, IT投資ポートフォリオ管理
- 経営層のコミットメント・サポートの獲得 全体最適の追及



本ご紹介する内容

- 広がるSOAの定義
- SOA採用の日・欧米の差異
- 阻害要因と課題
- 導入方法と成功要因
- 実際のところどうなのか?

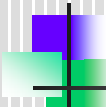


現場における議論

XML Consortium

- 雇用の硬直性 vs. 流動性 キャリア形成, 新技術採用へのモチベーション
- IT業界の構造の違い Sierモデル, 料金請求モデル, "2423の法則"
- M&Aや事業変化のスピードの違い イノベーション・マインド, 株主価値
- 個別最適 部門最適な予算/IT化
- 潜伏するBPM/SOA事例
- 企業間格差 他社事例はもう参考にならない?
- ITは投資でなく "経費" という経営層の認識

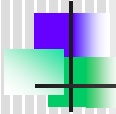
社会制度・文化・マインドに "真の要因" が存在する可能性。



もう一步踏み込んだ分析と対策が必要

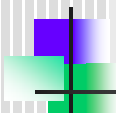
XML Consortium

美しい "提言" や "ベストプラクティス" が
何故使えないか(あるいは機能しないか)にまで
掘り下げて分析すべきではないか...?



SOA普及への条件 仮説



- 目的: “激動の時代” 認識 “グローバル化3.0”, 金融経済, 資源・食糧問題
新たなビジネスチャンス 超少子・高齢社会, BRICs, サービス経済化
- 技術: データ標準化 企業内外の通信・ドキュメントフォーマット
- 人材: 人材育成 CIO, エンタープライズITアーキテクト
- 組織: ITアーキテクトチーム設置 プロセス・IT全体最適化
- 業務: マネジメント再考 生産性, ワークライフバランス, ダイバーシティ・マネジメント



検討は続きます

“SOAで日本を良くする”
引き続き検討メンバ募集中。

Questions?



参考文献

- SOA導入の「阻害要因」とそれを踏まえた「現実解」(2008/04/28, アイ・ティ・アール / Computerworld.jp) <http://www.computerworld.jp/topics/soa/106109.html>
- SOAテクノロジー分類: SOA理解のために (2004/12/15, Gartner)
- 2007年日本企業のSOA適用の問題点: 企業目標に沿った戦略的リソースのスキル獲得を (2008/02/25, Gartner)
- 2007年日本企業のSOAガバナンス: 現状と方向性 (2008/02/25, Gartner)
- Evolve To SOA Using Street-Level Strategy (2004/09/15, Forrester Research)
- Real-World SOA: SOA Lessons Learned SOA Best Practices From Seven SOA Users (2005/09/15, Forrester Research)
- Key SOA Success Factors: A Starter Kit For SOA (2006/06/25, Forrester Research)
- Planned SOA Usage Grows Faster Than Actual SOA Usage (2007/03/19, Forrester Research)

XML Consortium

Copyright © XMLコンソーシアム 2008 All rights reserved.